

---

sfdg

そのい

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

s f d g

### 【Nコード】

N7096Y

### 【作者名】

そのい

### 【あらすじ】

くだらなくももうなんでもないってだけで、別の生物同士では難しいねって話かな。それが、もうさっさとどうにかなれよ、って話か、無視じゃないってことはっていう話か。ハッキリしてるのは、もう憎悪も滾るってこと。愛憎？うぐぐく笑える

何度も踏み潰されて顔の形状がわからなくなってしまった程の怒りを繰り返した結果の遺体です、とそれを手渡された時、浮かび上がってきたのは笑いだけだったその理由はわからないが、率直な感情だった。喜んでいるわけじゃない。悲しんでいるわけでもない。ただただそれがそこで寝転んでいることが違和感に満ちていた。

「私は五十一年間本気で生きてきた医師です」

そのメスが震えている医者メスはその潰されて形状のわからなくなつた顔をさらに引き裂いていた。なんでそういうことをするんですか、と涙ながらに拒否を示しながら、潰れてしまった顔の元の形状をもう忘れてしまったと思つた。呆気ないものだった。

その医者を殴り飛ばした後に、遺体も勝手に焼いて骨に還した。

医者もついでに燃やした後に、ついにいろいろと憎らしい中でもっとも憎らしいあの遺体が消えてしまった、消えてしまった、消えてしまった、と何にも考えず百回ほど繰り返して、百一回目にようやく感情を含んでみたら、ちょっとだけ涙が出た。でもちょっとだけだった。よかつた。

家に帰ると、黒い影が出迎えて敗者の苦しみが聞こえてきた。

敗者はずつと敗者のまま、地面に這いつくばって憎しみだけ滾らせてきたのだ、と語つた。だから欺瞞に満ち満ちている、と。

なるほど、とだけ呟いてからサロンパスを貼って寝た。

次の朝、はやく次の作品を完成させなくてはいけない、と焦るようになって、書き溜めていた。どうにも馬鹿なことばかりやっていたけれど、私は違う、みたいな言葉はもう憎しみしか過ぎらない。それを糧にして作品を書いていたら、思つてるより、自分で思つたより、出来が良くなった。ふうん、と呟いてからコンビニで納豆を買ってきて、御飯を炊いて納豆御飯ばかり食うことで時間と食費を節約しつつ、まだまだ書き続けてやろうと笑つた。大声で笑わな

かった。ただただ、にやつ、としていた。

憎しみはまだ消えないまま、書き終えたとき、再び空き地に向って骨に還ったそれが、何も求めていず、ただ単にあなすごいですねーと感心されたいというのに正直だったあなたの血肉は、もう煙となつて空気と交じり合つただろう。そういえば医者も一緒に燃やしたから、医者と一緒になつてしまったのだろうか。しまったことをしてしまった。

きつと、これでよかつたんだ。

僕はそう最期に呟いてから、原稿用紙を持って大きな川へ。

僕の人生はまだ続かせてみせるから。ぐすすすん。

一人で生きていくのだと。だから友達でいっつたけど。

そうか結局僕は、友達よりももっとみたいな。依存していたのは。

それに気が付いたのは随分前のことだったけど、

おかげさまで憎しみと共に気持ち的には完全に自律したと思った。

だから簡単に骨に還すことができたんだと思った。

個人たい個人。そこはとても乾いていて、とても自律している。

何もまっとうなことはもう呟く気はない。  
ひどい天邪鬼にからみ続けるほど我慢強くないからだった。  
もう天才物理学者は死んだ。とっくの昔に。  
そして呑気な神経の馬鹿ももう死んだ。

起承転結の結は呆気ないと言う。  
順序は守られず、虚空に潰れる。  
興味がないなら嘘さえつかない。ただ無言を貫くだけ。

再び言わせてくれ。死ね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7096y/>

---

sfdg

2011年11月21日11時41分発行